

高大連携による教育交流ネットワークの構築

— コミュニケーション教育研究会の活動とコミュニケーションリテラシー —

小棹 理子^a 伊藤 善隆^a 田村新吾^a 岩崎敏之^a 藤澤みどり^a 高橋可奈子^a
原 満^b 住谷勉^c 佐藤明宏^c 小林久美子^d 石田 英弥^e

^a湘北短期大学 ^b川崎市立川崎総合科学高等学校 ^c神奈川県立藤沢高等学校
^d神奈川県立有馬高等学校 ^e早稲田大学大学院博士前期課程

【抄録】

高大連携校より本学への入学が決定した生徒を対象とした単位認定科目「コミュニケーションリテラシー」を開講した。同科目の内容やスケジュールは、平成19年度よりほぼ月に一度のペースで高大連携協定校教員と本学教職員で構成する「コミュニケーション教育研究会」で調査研究・見学・参観・討議などを重ねて決定されたものである。この研究会の中ではまた、ブレインストーミングにより、経済産業省の「社会人基礎能力」を基本とした「職業を持った社会人に必要とされる能力要素」の洗い出しを行ない、これら要素の必要性や獲得度のアンケート調査を実施した。対象は高大連携校と全国の高校である。その結果、職業をもった社会人にもっとも必要とされる基本的な基礎能力は、「コミュニケーション能力」と「一般常識」であること、さらには「課題発見能力や企画・提案能力」や「表現力やプレゼンテーション能力」が不十分であるととらえられていることがわかった。こうした問題意識を踏まえて「コミュニケーションリテラシー」の実施内容を組み立てた。本年度の「コミュニケーションリテラシー」受講生は110名となった。この効果を検証することは容易ではないが、受講生に対しアンケート調査などを行った結果に関しても報告する。

【キーワード】

高大連携 コミュニケーションリテラシー キャリア基礎能力 社会人基礎能力

1. はじめに

湘北短期大学は、社会に役立つ人材を育てる実務教育を志向している。職業を持った社会人には、専門的な知識・技能のみならず、一般社会人が備えるべき基礎能力も備わっていることが必

要であり、この様な基礎能力を育成する「キャリア教育」^{注1)}の重要性が指摘されている。職場等で求められる能力を明確化したものとしては、「社会人基礎力」^{注2)}があるが、これは経済活動等を担う産業人材の確保・育成の観点から経済産業政策局長の私的研究会でとりまとめられたものである。

短大での2年間という制約下で、一人一人の個性・能力を伸ばしつつ社会に役立つ人材の育成を行うためには、専門教育のみならず上記のような

<連絡先>

小棹 理子 ozao@shohoku.ac.jp

基礎能力の向上が不可欠であり、本学ではリベラルアーツ教育がその任を負ってきた。しかし、基礎学力ならびに就労意識の低下などの問題を解決しつつ社会や学生からの多様なニーズに応えるためには、より効率の良い教育システムが必要とされている。高大連携はそのような問題を解決するために有効であろう。

高校3年次における入学前のアイドルタイムに大学初年次教育を開始すれば、シームレスな教育システムが実現される。もちろん、高等学校・大学の双方が、後期中等教育機関・高等教育機関としてそれぞれ独自の目的や役割を達成するようなシステムでなければならない。本学は平成14年に県立高校18校と高大連携協定を結んで以来、さまざまなプログラムを開発して提供してきた。幸いにして連携校の数は増加(平成21年4月現在27校)し、連携校からの入学生は約200名、入学全数の約1/3を占めている。

本学では専門教育の前倒しでもなくリメディアル教育でもない接続教育を実現するために、高校教員と大学教職員で「コミュニケーション教育研究会」を設立し、調査研究・討議を行った。その結

果として接続教育科目「コミュニケーションリテラシー」を開講したので報告する。また、昨年度、開講した接続講座 [1] の効果検証の一助として受講生に対しアンケート調査を実施したので、この結果に関しても述べる。

2. コミュニケーション教育研究会の活動

2.1 コミュニケーション教育研究会

コミュニケーション教育研究会は、接続教育プログラムの開発を行うことを主目的として、設立された研究会である。平成18年の準備段階 [2] を経て、平成19年4月17日に「情報教育研究会」として発足した。授業内容や方法の事例研究、アンケートの実施(詳細は2.2参照)、意見交換や討議、授業見学などを行って接続講座「コミュニケーションリテラシー」を開発した(詳細は2.3参照)。連携高校の担当者に議事録を送付して毎回開催を案内した。各ミーティングには高校教員3~6名、湘北短大教職員5~6名が参加した。表1に研究会の開催実績を示す。議事録は、Web上 (<http://scopp.shohoku.ac.jp/dl/>) で閲覧可能である。

表1 コミュニケーション教育研究会開催状況

Table 1 Meetings on Communication Education held during 2007-08.

| 回 | 日時 | 内容 |
|---|------------------------|---|
| 1 | 2007年 4月17日 | 新しい高大連携接続教育のコアとしてコミュニケーション能力の育成が必要であることを確認。 「情報教育研究会」から「コミュニケーション教育研究会」へと改称。 他の接続教育プログラム例の紹介。 |
| 2 | 5月16日 神奈川県立茅ヶ崎高校で開催 | 高校での「情報」授業参観とその他授業例の紹介。 図書室の見学。 接続教育プログラム用テキスト内容の検討。 |
| 3 | 6月13日 | 「ケースメソッド」の紹介(講師:慶応大学 西田)。 接続教育プログラム用テキスト内容具体案の策定。 |
| 4 | 7月30日 | 参考資料・書籍の配布。 テキスト各章の具体例提示。 |

高大連携による教育交流ネットワークの構築

| | | |
|----|--|--|
| 5 | 9月20日 | 具体的な接続教育プログラムの検討。 |
| 6 | 11月8日 | 日時を含めた詳細な接続教育プログラム「コミュニケーションリテラシー」講座の検討。 |
| 7 | 12月13日 | スケジュールと入学者、高校への配布文書の確認。 |
| 8 | 2008年 1月22日 2月15、16、28 (または29)日 3月12日(最終日) | 申し込み状況の確認と当日打ち合わせ。 高校教員・湘北教職員による4日間の「コミュニケーションリテラシー」講座(全12講)を開講。 「コミュニケーションリテラシー」講座第12講(グループ発表)を高大連携各校に公開。(高大連携協議会開催日) |
| 9 | 3月26日 | 「コミュニケーションリテラシー」の振り返り。アンケート結果の報告と今後の検討。 |
| 10 | 4月24日 | 「コミュニケーションリテラシー」の単位化計画。フォーラムの開催検討。 |
| 11 | 5月22日 | 「コミュニケーションリテラシー」の詳細(全15講、1単位)を議論、受講生の効果検証方法について。 |
| 12 | 6月12日 | 全国アンケートの内容の検討。 DVD等によるフォーラムの講演者の推薦や検討。 |
| 13 | 7月17日 | 学内(湘北)アンケート結果をふまえ、高校向けアンケートの詳細を検討。ブレインストーミングによる「職業を持つ社会人として必要な力」の洗い出し。 |
| 14 | 9月25日 | フォーラムの内容を決定。講演(3人)+パネルディスカッション。 高校-大学をひとつの教育システムとして見た場合、入り口(高校入学生)の問題を明らかにし、その一方、出口(就職)で求められる人材に必要な力は何かを明確化する。 |
| 15 | 10月30日 | 高大連携校より回答のアンケート結果の議論と考察。 フォーラム案の決定。 |
| 16 | 11月27日 | H21年2-3月実施の「コミュニケーションリテラシー」の詳細確認。 高大連携校より回答のアンケート結果の検討。 |
| 17 | 2009年 1月20日 2月6,7,9,10日 | 「コミュニケーションリテラシー」の申し込み状況とフォーラムの準備状況の確認。 「コミュニケーションリテラシー」開講。受講生24校、110名。 |
| 18 | 2月10日 | 「コミュニケーションリテラシー」反省会。 |

2.2 全国高校へのアンケート調査

昨年実施した湘北短期大学近隣(神奈川、静岡、東京など)の高校あてのアンケートの内容を発展させ、地域を拡大し、全国5211校へ回答を依頼した(2008年9月5日～10月1日)。このアンケートの目的は、高等学校卒業時に高校教員の生徒に対する観点を問うもので、“職業を持つ社会人とし

て必要であるが高校卒業時での獲得は不十分である”と考えられる社会人基礎能力を把握することである。とくに今回は、社会人に必要とされる基礎力を細分し、これら項目間での関連を探ることも目的とした。さらに、フリーコメント部分の解析も試みることにした。特に高大連携校に対しては、各校から複数回答が得られるように、別途回

答を依頼した。

このアンケートでは、「A:キャリア基礎能力の必要性」、「B:キャリア基礎能力の高校卒業時における獲得度」、「C:社会人基礎能力の獲得度」、さらには「D:大学進学における問題点」について質問した。「キャリア基礎能力」は、本学が企業に向け平成15年に行ったアンケートで職業人が持つべき基礎能力として提示したものに拠っている（内部資料）。詳細を下記に示す。また、回答者の担当科目、年代、担当分掌、についても問うている。

2.2.1 アンケート設問

A、Bはキャリア基礎能力a～jについての設問である。回答は、「おおいに必要」/「十分である」(5)、「やや必要」/「ほぼ十分である」(4)、「どちらとも言えない」(3)、「やや不要」/「やや不十分」(2)、「まったく不要」/「不十分」(1)の5段階からの選択とした。

Cでの回答も5択とした。「とてもそう思う」(5)、「そう思う」(4)、「どちらとも言えない」(3)、「そう思わない」(2)、「まったくそう思わない」(1)。

A:キャリア教育の中で下記基礎能力はどの程度必要と思われますか。

B:高校卒業時に生徒は下記基礎能力をどの程度身につけていると思われますか。

- a. 一般常識
- b. コミュニケーション能力（他人の意見を聞き自己の意思を伝える能力）
- c. ビジネス文書力
- d. 英語基礎力
- e. PC基礎操作力
- f. ビジネスの理解
- g. 就労意識
- h. 課題発見能力

- i. 専門知識・技能
- j. 企画・提案能力

C:高校で生徒と接している中で、下記のような点を問題であると感じでしょうか。

(生徒の社会人基礎能力を間接的に聞いている)

- 1 指示されないと行動できない
- 2 知識・技術獲得に積極的にはたらかない
- 3 自分が嫌なことは実行しない
- 4 周囲と協力・協働しようとししない
- 5 周囲に協力・協働を呼びかけられない
- 6 議論を避ける
- 7 自分で目標を設定できない
- 8 困難を乗り越えようと努力しない
- 9 忍耐力がない（我慢ができない）
- 10 現状を把握して分析しようとししない
- 11 問題点を見つけようとししない
- 12 課題を明確にすることができない
- 13 問題解決の手順や方法を考えられない
- 14 複数の選択肢から問題解決の最適案を選択できない
- 15 新しい発想ができない
- 16 異なる面から考えることができない
- 17 ポイントを整理してから話をしない
- 18 順序立てて話ができない
- 19 相手の立場を考えて話ができない
- 20 自分の考え方、やり方に固執する（頑固すぎる）
- 21 他人の意見ややり方に聴く耳をもたない
- 22 グループの中で、自分の役割や使命が自覚できない
- 23 社会のルールやマナーを守れない
- 24 約束ごとや時間を守れない
- 25 体力がない
- 26 ストレスに弱い

D: 大学への進学を考えている生徒と接する中で、
下記のような点を問題であると感じてしょうか。

- 1 無目的・無目標のまま大学に入学する生徒が多い
- 2 高校で学んだことと大学で学ぶべき内容との関連性が理解できない
- 3 基本的な知識が身につけていない生徒が多い
- 4 学力の二極化が進んでいる
- 5 収入格差が学力格差を生んでいる
- 6 必要な場合に経済的な支援を行うシステムがない
- 7 偏差値のみで評価をする
- 8 早い時期に文系・理系で分けてしまうため選択科目に偏りを生じる
- 9 選択科目が多すぎる
- 10 親が高等教育を理解しないことが多い

2.2.2 アンケート集計結果

表2に全国回答率を示す。また、表3に回答基本集計を示す。連携校からは21校、104名から回答が得られた。全国からは751通の回答が得られた(ただし連携校からの回答分を除く)。

表 2 全国回答率

(斜体は連携校からの回答を除いた数)

Table 2 Response ratio (nationwide)

| 都道府県名 | 学校数 | 回答数 | 回答率 |
|-------|-----|-----|-------|
| 神奈川 | 220 | 55 | 25.0% |
| 福 島 | 109 | 25 | 22.9% |
| 鳥 取 | 31 | 7 | 22.6% |
| 青 森 | 78 | 17 | 21.8% |
| 高 知 | 46 | 10 | 21.7% |
| 徳 島 | 42 | 9 | 21.4% |
| 山 形 | 66 | 14 | 21.2% |
| 栃 木 | 82 | 17 | 20.7% |
| 宮 崎 | 58 | 12 | 20.7% |
| 香 川 | 45 | 9 | 20.0% |

| | | | |
|-----|------|-----|-------|
| 愛 媛 | 69 | 13 | 18.8% |
| 長 野 | 114 | 21 | 18.4% |
| 秋 田 | 61 | 11 | 18.0% |
| 大 分 | 61 | 11 | 18.0% |
| 静 岡 | 145 | 26 | 17.9% |
| 鹿児島 | 102 | 18 | 17.6% |
| 新 潟 | 117 | 20 | 17.1% |
| 岡 山 | 92 | 16 | 17.4% |
| 三 重 | 78 | 13 | 16.7% |
| 北海道 | 326 | 52 | 16.0% |
| 岩 手 | 82 | 13 | 15.9% |
| 茨 城 | 139 | 22 | 15.8% |
| 佐 賀 | 45 | 7 | 15.6% |
| 石 川 | 61 | 9 | 14.8% |
| 愛 知 | 224 | 33 | 14.7% |
| 宮 城 | 105 | 15 | 14.3% |
| 富 山 | 56 | 8 | 14.3% |
| 奈 良 | 56 | 8 | 14.3% |
| 熊 本 | 84 | 12 | 14.3% |
| 沖 縄 | 70 | 10 | 14.3% |
| 長 崎 | 81 | 11 | 13.6% |
| 福 井 | 37 | 5 | 13.5% |
| 和歌山 | 52 | 7 | 13.5% |
| 岐 阜 | 83 | 11 | 13.3% |
| 千 葉 | 195 | 25 | 12.8% |
| 広 島 | 140 | 16 | 11.4% |
| 山 梨 | 45 | 5 | 11.1% |
| 島 根 | 47 | 5 | 10.6% |
| 福 岡 | 170 | 18 | 10.6% |
| 東 京 | 453 | 47 | 10.4% |
| 京 都 | 98 | 10 | 10.2% |
| 大 阪 | 283 | 27 | 9.5% |
| 群 馬 | 86 | 8 | 9.3% |
| 山 口 | 86 | 8 | 9.3% |
| 兵 庫 | 219 | 17 | 7.8% |
| 埼 玉 | 213 | 15 | 7.0% |
| 滋 賀 | 59 | 3 | 5.1% |
| 合計 | 5211 | 751 | |

表3 基本集計

Table 3 Basic statistics

| 担当教科(複数回答可) | 人 | | 担当分掌(複数回答可) | 人 | |
|-------------|-----|-----|-------------|-----|-----|
| | 全国 | 連携校 | | 全国 | 連携校 |
| 英語 | 111 | 26 | 学年担任 | 36 | 18 |
| 芸術 | 9 | 2 | 学年主任 | 30 | 0 |
| 工業 | 49 | 5 | 進路支援 | 565 | 36 |
| 国語 | 116 | 19 | キャリア支援 | 120 | 27 |
| 社会 | 101 | 15 | 就職支援 | 46 | 0 |
| 情報 | 27 | 2 | インターンシップ | 1 | 0 |
| 商業 | 59 | 4 | 校長、教頭、総務 | 50 | 8 |
| 数学 | 138 | 14 | 生活指導 | 8 | 4 |
| 体育(保体) | 10 | 5 | 学習支援 | 0 | 4 |
| 農業 | 18 | 3 | 地域連携 | 0 | 5 |
| 理科 | 99 | 10 | その他 | 10 | 9 |
| 家庭 | 13 | 0 | 合 計 | 866 | 111 |
| 宗教 | 2 | 0 | | | |
| 水産 | 2 | 0 | | | |
| その他 | 16 | 1 | | | |
| 合 計 | 770 | 106 | | | |
| 年代 | 全国 | 連携校 | | | |
| 20代 | 15 | 4 | | | |
| 30代 | 98 | 4 | | | |
| 40代 | 336 | 46 | | | |
| 50代 | 279 | 46 | | | |
| その他(無回答) | 23 | 4 | | | |
| 合 計 | 751 | 104 | | | |

高大連携校の約7倍の回答が全国から得られているが、キャリア担当者や副校長などからも回答があった。また、工業や商業、情報担当者の回答割合が高くなっている。担当分掌名も地域性があることがわかる。

以下、図1～4に、設問A-Dの高大連携校からの回答をまとめたものを示す。

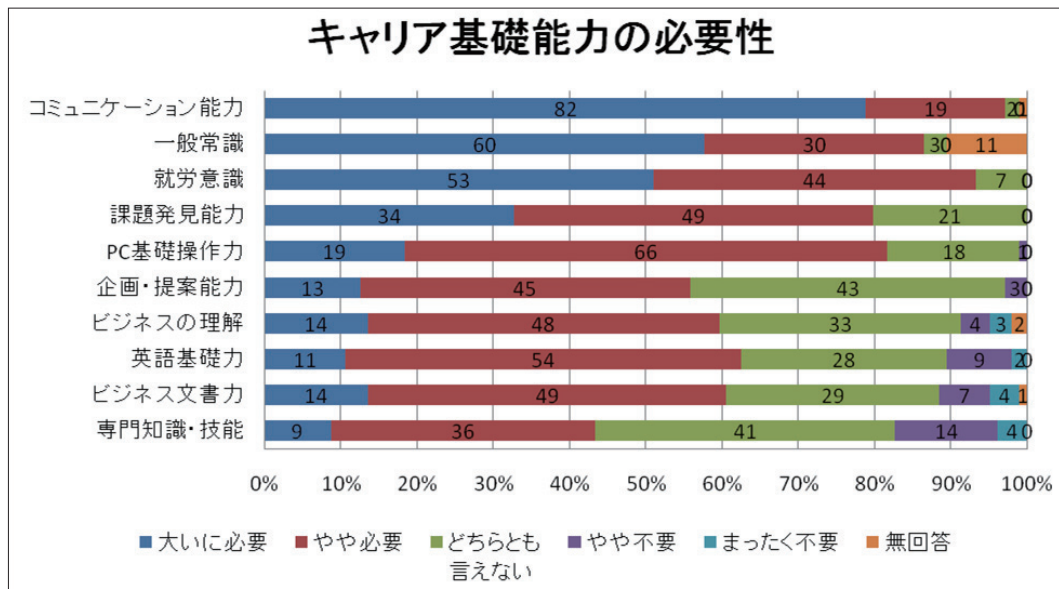


図1 キャリア基礎能力の必要性（高大連携校）

（大いに必要、やや必要、どちらとも言えない、やや不要、まったく不要、をこの順に5段階で数値化し、平均の高いものから順に並べてある）

Fig. 1 Basic carrier skills assumed necessary for high school students (Survey on the teachers of high schools participating in SCoPP (Shohoku College Pass Program))

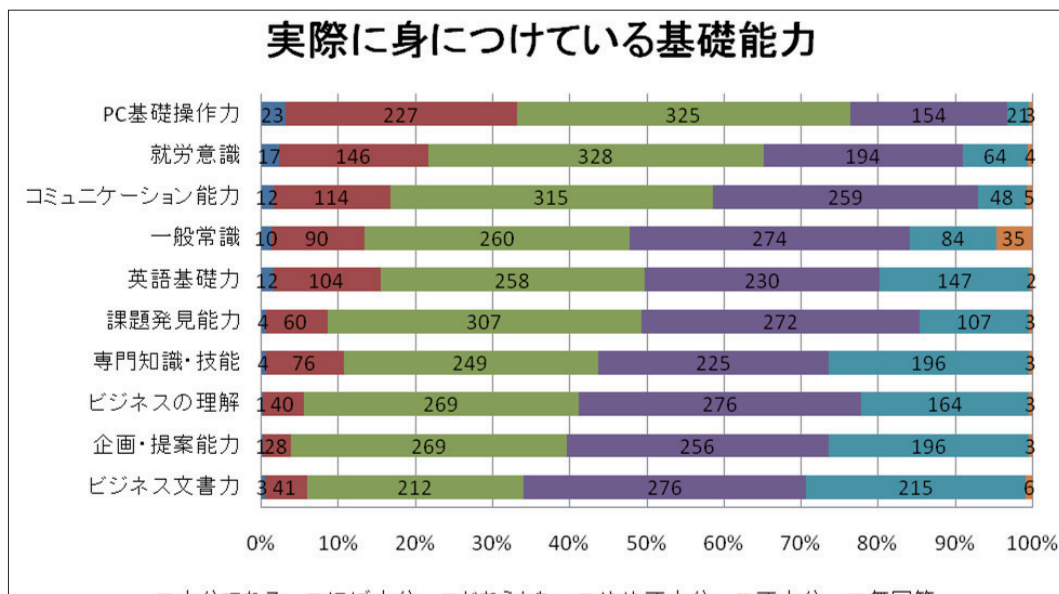


図2 キャリア基礎能力の獲得度（高大連携校）（順序の決め方は図1と同じ）

Fig. 2 Basic carrier skills achieved by high school students (Survey on the teachers of high schools participating in SCoPP)

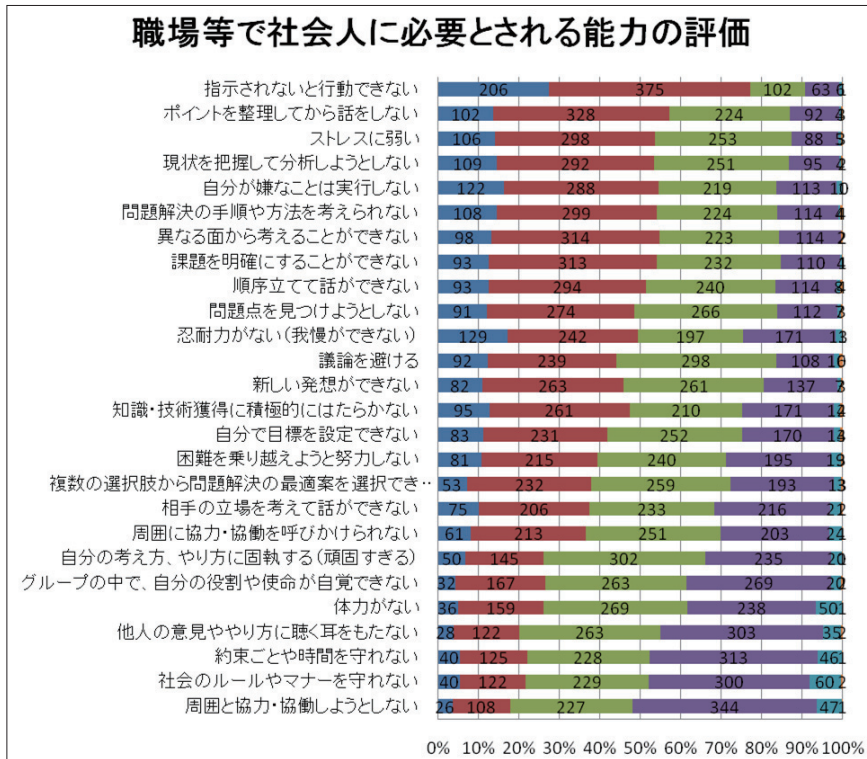


図3 社会人に必要な能力の獲得度 (高大連携校) (順序の決め方は図1と同じ)

Fig. 3 Fundamental skills required for a member of society assumed necessary for high school students (Survey on the teachers of high schools participating in SCoPP)

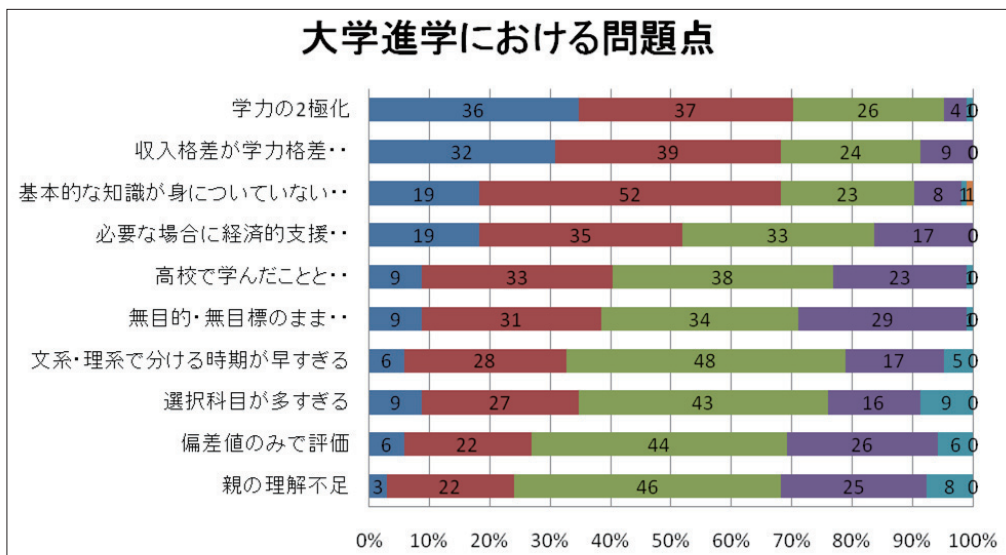


図4 大学進学における問題点 (高大連携校) (順序の決め方は図1と同じ)

Fig. 4 Problems in going on to colleges and universities (Survey on the teachers of high schools participating in SCoPP)

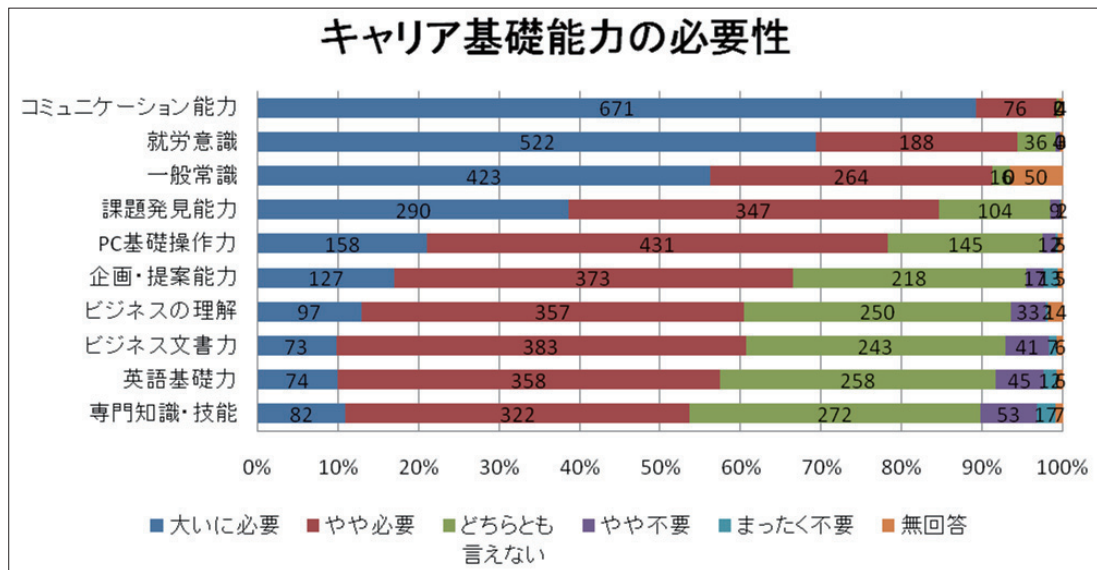


図 5 キャリア基礎能力の必要性（全国）

（大いに必要、やや必要、どちらとも言えない、やや不要、まったく不要、をこの順に5段階で数値化し、平均の高いものから順に並べてある）

Fig. 5 Basic carrier skills assumed necessary for high school students (Survey on the teachers of high schools nationwide)

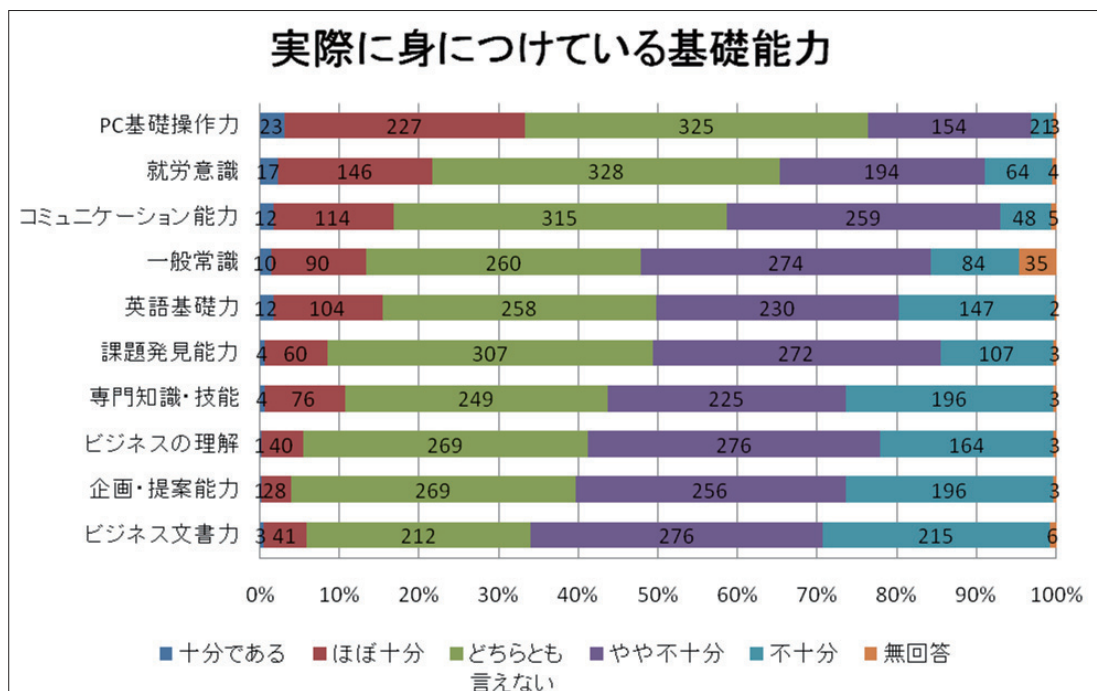


図 6 キャリア基礎能力の獲得度（全国）（順序の決め方は図 5 と同じ）

Fig. 6 Basic carrier skills achieved by high school students (Survey on the teachers of high schools nationwide)

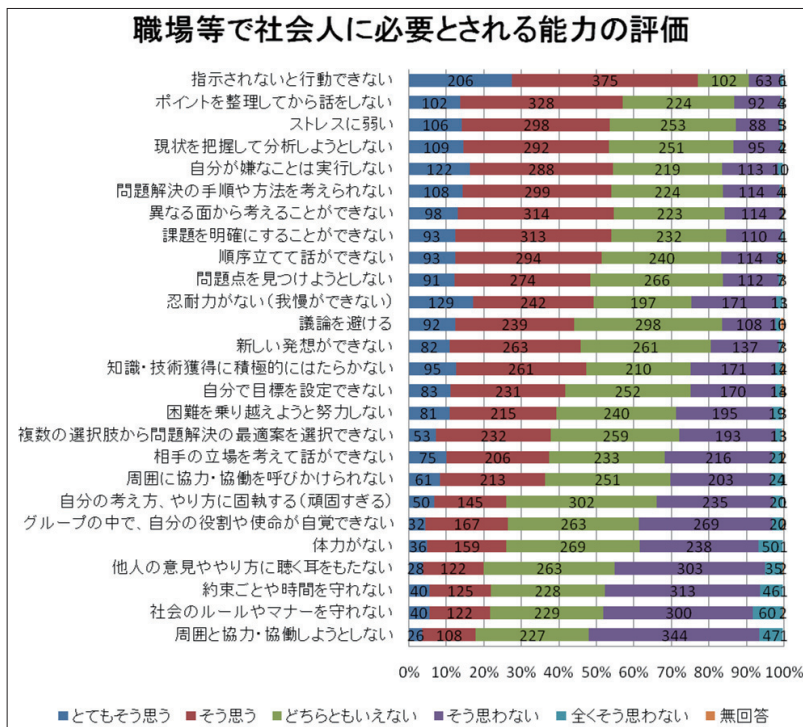


図7 社会人に必要な能力の獲得度 (全国) (順序の決め方は図5と同じ)

Fig. 7 Fundamental skills required for a member of society assumed necessary for high school students (Survey on the teachers of high schools nationwide)

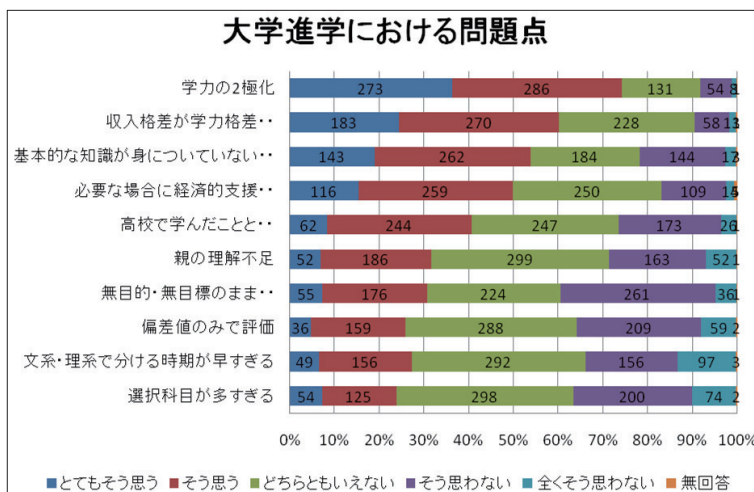


図8 大学進学における問題点 (全国) (順序の決め方は図5と同じ)

Fig. 8 Problems in going on to colleges and universities (Survey on the teachers of high schools nationwide)

設問C,Dの回答の重相関分析を行った。設問項目間への回答の関連性を見ることで、キャリア教育としてどのような能力が必要かをより詳細にかつ明確にすることができる。

表 4 設問 C の項目の重相関分析 【0.7 以上:強い相関がある,0.6 ~ 0.7:相関がある】 (高大連携校)
Table 4 Multiple correlation analysis results for Survey C (SCopp)

| | C1 | C2 | C3 | C4 | C5 | C6 | C7 | C8 | C9 | C10 | C11 | C12 | C13 | C14 | C15 | C16 | C17 | C18 | C19 | C20 | C21 | C22 | C23 | C24 | C25 | C26 |
|-----|--------|--------|--------------|---------------|---------------|--------|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------|--------|
| C1 | 1 | 0.5194 | 0.3899 | 0.3651 | 0.4462 | 0.2577 | 0.5101 | 0.4658 | 0.3845 | 0.2972 | 0.3752 | 0.3421 | 0.3887 | 0.4173 | 0.3163 | 0.2773 | 0.4574 | 0.4016 | 0.3883 | 0.2891 | 0.3092 | 0.3562 | 0.4413 | 0.3275 | 0.1389 | 0.2601 |
| C2 | 0.5194 | 1 | 0.5395 | 0.4598 | 0.4483 | 0.4071 | 0.3912 | 0.4989 | 0.4951 | 0.4193 | 0.4329 | 0.4182 | 0.4801 | 0.4675 | 0.4321 | 0.3727 | 0.4296 | 0.5005 | 0.4208 | 0.4768 | 0.5061 | 0.5215 | 0.508 | 0.4736 | 0.286 | 0.1969 |
| C3 | 0.3899 | 0.5395 | 1 | 0.524 | 0.4938 | 0.3823 | 0.3573 | 0.5886 | 0.728 | 0.4276 | 0.4341 | 0.4502 | 0.4563 | 0.3704 | 0.3069 | 0.2773 | 0.4011 | 0.4264 | 0.5999 | 0.518 | 0.517 | 0.557 | 0.584 | 0.5431 | 0.2864 | 0.2433 |
| C4 | 0.3851 | 0.4598 | 0.524 | 1 | 0.6944 | 0.3657 | 0.4948 | 0.546 | 0.4971 | 0.2994 | 0.4445 | 0.4756 | 0.411 | 0.5049 | 0.2881 | 0.2661 | 0.538 | 0.5453 | 0.6174 | 0.596 | 0.6777 | 0.6804 | 0.6313 | 0.6214 | 0.5041 | 0.1828 |
| C5 | 0.4462 | 0.4483 | 0.4938 | 0.6944 | 1 | 0.5155 | 0.4879 | 0.4766 | 0.5348 | 0.4446 | 0.4758 | 0.5045 | 0.4738 | 0.4223 | 0.2764 | 0.2711 | 0.4432 | 0.4385 | 0.4285 | 0.4869 | 0.5622 | 0.5101 | 0.5313 | 0.4581 | 0.2157 | |
| C6 | 0.2577 | 0.4071 | 0.3823 | 0.3657 | 0.5155 | 1 | 0.5142 | 0.3822 | 0.4196 | 0.4195 | 0.4109 | 0.4532 | 0.4477 | 0.3508 | 0.1871 | 0.1568 | 0.4421 | 0.4156 | 0.4114 | 0.3267 | 0.3 | 0.3875 | 0.2554 | 0.2191 | 0.2335 | 0.233 |
| C7 | 0.5101 | 0.3912 | 0.3573 | 0.4948 | 0.4879 | 0.5142 | 1 | 0.6456 | 0.4895 | 0.3447 | 0.6177 | 0.5466 | 0.5433 | 0.5539 | 0.4308 | 0.3178 | 0.5627 | 0.5568 | 0.4729 | 0.3084 | 0.4608 | 0.4207 | 0.4493 | 0.4282 | 0.1802 | 0.2 |
| C8 | 0.4888 | 0.4899 | 0.5896 | 0.5896 | 0.4766 | 0.3822 | 0.6456 | 1 | 0.744 | 0.6167 | 0.6465 | 0.5908 | 0.5715 | 0.5737 | 0.4131 | 0.4096 | 0.5789 | 0.5795 | 0.4099 | 0.5512 | 0.5806 | 0.5772 | 0.5943 | 0.4368 | 0.3993 | |
| C9 | 0.3845 | 0.4551 | 0.728 | 0.4971 | 0.5348 | 0.4196 | 0.4895 | 0.744 | 1 | 0.6563 | 0.5939 | 0.5739 | 0.5321 | 0.5203 | 0.4068 | 0.3793 | 0.4801 | 0.5151 | 0.6186 | 0.6317 | 0.6593 | 0.6589 | 0.6589 | 0.4178 | 0.4464 | |
| C10 | 0.2972 | 0.4193 | 0.4329 | 0.4341 | 0.4445 | 0.4195 | 0.3447 | 0.5161 | 0.6563 | 1 | 0.6955 | 0.6543 | 0.6183 | 0.463 | 0.475 | 0.4197 | 0.4399 | 0.4389 | 0.3917 | 0.2041 | 0.3173 | 0.3944 | 0.3502 | 0.3761 | 0.2484 | 0.3189 |
| C11 | 0.3752 | 0.4329 | 0.4341 | 0.4445 | 0.4758 | 0.4109 | 0.6177 | 0.6465 | 0.5939 | 0.6955 | 1 | 0.774 | 0.735 | 0.5576 | 0.4862 | 0.4028 | 0.499 | 0.5412 | 0.41 | 0.2489 | 0.377 | 0.4707 | 0.4592 | 0.476 | 0.2523 | 0.3332 |
| C12 | 0.3421 | 0.4182 | 0.4502 | 0.4756 | 0.5045 | 0.4532 | 0.5468 | 0.5908 | 0.5739 | 0.6543 | 0.774 | 1 | 0.771 | 0.735 | 0.5576 | 0.4862 | 0.499 | 0.5412 | 0.41 | 0.2489 | 0.377 | 0.4707 | 0.4592 | 0.476 | 0.2523 | 0.3332 |
| C13 | 0.3987 | 0.4801 | 0.4583 | 0.411 | 0.4738 | 0.4477 | 0.5433 | 0.5715 | 0.5521 | 0.6183 | 0.735 | 0.771 | 1 | 0.6515 | 0.5176 | 0.5145 | 0.6461 | 0.6198 | 0.4519 | 0.3845 | 0.3874 | 0.463 | 0.4056 | 0.4231 | 0.281 | 0.3434 |
| C14 | 0.4173 | 0.4675 | 0.3704 | 0.5049 | 0.4223 | 0.3508 | 0.5539 | 0.5737 | 0.5203 | 0.463 | 0.5576 | 0.6214 | 0.6515 | 1 | 0.6412 | 0.6859 | 0.6433 | 0.6942 | 0.5157 | 0.4167 | 0.5021 | 0.5343 | 0.4671 | 0.4766 | 0.3049 | 0.3617 |
| C15 | 0.3163 | 0.4321 | 0.3069 | 0.2881 | 0.2784 | 0.1871 | 0.4308 | 0.4131 | 0.4068 | 0.475 | 0.4962 | 0.5364 | 0.5176 | 0.6412 | 1 | 0.801 | 0.4623 | 0.5065 | 0.3344 | 0.3006 | 0.3689 | 0.3378 | 0.3715 | 0.3769 | 0.2507 | 0.4168 |
| C16 | 0.273 | 0.3727 | 0.2773 | 0.2661 | 0.271 | 0.1568 | 0.3178 | 0.4096 | 0.3793 | 0.4197 | 0.4028 | 0.5075 | 0.5145 | 0.6859 | 0.801 | 1 | 0.5081 | 0.5527 | 0.3444 | 0.3341 | 0.3597 | 0.3469 | 0.3203 | 0.3982 | 0.1989 | 0.3601 |
| C17 | 0.4574 | 0.4296 | 0.4011 | 0.538 | 0.4432 | 0.4421 | 0.5627 | 0.5407 | 0.4801 | 0.4399 | 0.499 | 0.6056 | 0.6461 | 0.6433 | 0.4823 | 0.5081 | 1 | 0.849 | 0.6594 | 0.4479 | 0.5202 | 0.489 | 0.4943 | 0.5044 | 0.2315 | 0.2532 |
| C18 | 0.4016 | 0.5005 | 0.4284 | 0.5453 | 0.4385 | 0.4156 | 0.5568 | 0.5859 | 0.5151 | 0.4399 | 0.5412 | 0.6547 | 0.6198 | 0.6942 | 0.5065 | 0.5527 | 0.849 | 1 | 0.702 | 0.585 | 0.626 | 0.5573 | 0.5737 | 0.5855 | 0.2929 | 0.2577 |
| C19 | 0.3893 | 0.4208 | 0.5599 | 0.6174 | 0.4826 | 0.4114 | 0.4729 | 0.5795 | 0.6186 | 0.2947 | 0.41 | 0.3253 | 0.4519 | 0.5157 | 0.3344 | 0.3444 | 0.6594 | 0.702 | 1 | 0.6702 | 0.6288 | 0.5823 | 0.6374 | 0.5837 | 0.2649 | 0.2108 |
| C20 | 0.2691 | 0.4768 | 0.518 | 0.596 | 0.4285 | 0.3267 | 0.3084 | 0.4099 | 0.4634 | 0.3091 | 0.2489 | 0.3604 | 0.3645 | 0.4167 | 0.3006 | 0.3341 | 0.4479 | 0.585 | 0.626 | 0.5737 | 0.708 | 0.5665 | 0.565 | 0.5218 | 0.3924 | 0.1959 |
| C21 | 0.3092 | 0.5061 | 0.517 | 0.6777 | 0.4869 | 0.3 | 0.4608 | 0.5512 | 0.5834 | 0.3173 | 0.377 | 0.4065 | 0.3874 | 0.5021 | 0.3889 | 0.3597 | 0.5202 | 0.626 | 0.6298 | 0.703 | 1 | 0.728 | 0.741 | 0.766 | 0.4989 | 0.3669 |
| C22 | 0.3582 | 0.5215 | 0.557 | 0.6804 | 0.5622 | 0.3875 | 0.4207 | 0.5806 | 0.6317 | 0.3944 | 0.4707 | 0.4748 | 0.463 | 0.5343 | 0.3378 | 0.3469 | 0.489 | 0.5573 | 0.5623 | 0.5665 | 0.728 | 1 | 0.758 | 0.766 | 0.4989 | 0.3669 |
| C23 | 0.4413 | 0.508 | 0.594 | 0.6313 | 0.5101 | 0.2554 | 0.4493 | 0.5772 | 0.6593 | 0.3502 | 0.4592 | 0.4679 | 0.4056 | 0.4671 | 0.3715 | 0.3203 | 0.4943 | 0.5737 | 0.5623 | 0.5665 | 0.741 | 0.758 | 1 | 0.84 | 0.3655 | 0.3453 |
| C24 | 0.3275 | 0.4736 | 0.5431 | 0.6214 | 0.5313 | 0.2191 | 0.4282 | 0.5943 | 0.6589 | 0.3761 | 0.476 | 0.466 | 0.4231 | 0.4766 | 0.3769 | 0.3982 | 0.5044 | 0.5955 | 0.5837 | 0.5218 | 0.732 | 0.766 | 0.84 | 1 | 0.4818 | 0.3098 |
| C25 | 0.1389 | 0.286 | 0.2864 | 0.5041 | 0.4581 | 0.2335 | 0.1802 | 0.3488 | 0.4178 | 0.2484 | 0.2523 | 0.2635 | 0.281 | 0.3049 | 0.2507 | 0.1989 | 0.2315 | 0.2929 | 0.2649 | 0.3924 | 0.3059 | 0.4989 | 0.3655 | 0.4818 | 1 | 0.4733 |
| C26 | 0.2601 | 0.1969 | 0.2433 | 0.1828 | 0.2157 | 0.233 | 0.2 | 0.3993 | 0.4464 | 0.3189 | 0.3332 | 0.3595 | 0.3434 | 0.3617 | 0.4168 | 0.3601 | 0.2532 | 0.2577 | 0.2108 | 0.1555 | 0.1299 | 0.3669 | 0.3453 | 0.3098 | 0.4733 | 1 |

表 5 設問 D の項目の重相関分析 【ほとんど相関なし】 (高大連携校)
Table 5 Multiple correlation analysis results for Survey D (SCopp)

| | D1 | D2 | D3 | D4 | D5 | D6 | D7 | D8 | D9 | D10 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| D1 | 1 | 0.5316 | 0.4835 | 0.2088 | 0.093 | 0.0751 | 0.2562 | -0.035 | 0.1152 | 0.1531 |
| D2 | 0.5316 | 1 | 0.4057 | 0.1502 | 0.0388 | 0.2778 | 0.3779 | 0.1555 | 0.2402 | 0.3606 |
| D3 | 0.4835 | 0.4057 | 1 | 0.2393 | 0.1857 | 0.1703 | 0.1277 | 0.1691 | 0.2385 | 0.1911 |
| D4 | 0.2088 | 0.1502 | 0.2393 | 1 | 0.4484 | 0.0817 | 0.131 | 0.0703 | 0.1518 | 0.1233 |
| D5 | 0.093 | 0.0388 | 0.1857 | 0.4484 | 1 | 0.3431 | 0.2314 | 0.1934 | 0.2461 | 0.1968 |
| D6 | 0.0751 | 0.2778 | 0.1703 | 0.0817 | 0.3431 | 1 | 0.3837 | 0.2271 | 0.1334 | 0.3315 |
| D7 | 0.2562 | 0.3779 | 0.1277 | 0.131 | 0.2314 | 0.3837 | 1 | 0.5846 | 0.3104 | 0.3511 |
| D8 | -0.035 | 0.1555 | 0.1691 | 0.0703 | 0.1934 | 0.2271 | 0.5846 | 1 | 0.4474 | 0.29 |
| D9 | 0.1152 | 0.2402 | 0.2385 | 0.1518 | 0.2461 | 0.1334 | 0.3104 | 0.4474 | 1 | 0.3904 |
| D10 | 0.1531 | 0.3606 | 0.1911 | 0.1233 | 0.1968 | 0.3315 | 0.3511 | 0.29 | 0.3904 | 1 |

表6 設問Cの項目の重相関分析【0.7以上：強い相関がある、0.6～0.7：相関がある】(全国)
Table 6 Multiple correlation analysis results for Survey C (nationwide)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| C1 | 0.5826 | 0.5694 | 0.3899 | 0.4534 | 0.3769 | 0.5168 | 0.5082 | 0.494 | 0.5244 | 0.4813 | 0.4704 | 0.5493 | 0.4425 | 0.3976 | 0.4757 | 0.5184 | 0.5183 | 0.4754 | 0.3393 | 0.3741 | 0.4502 | 0.3792 | 0.3824 | C25 | C26 | |
| C2 | 0.5826 | 1 | 0.5804 | 0.5109 | 0.4626 | 0.3949 | 0.5661 | 0.5787 | 0.4846 | 0.5285 | 0.5156 | 0.5141 | 0.5398 | 0.4953 | 0.4007 | 0.456 | 0.5157 | 0.5081 | 0.4619 | 0.3591 | 0.4216 | 0.4687 | 0.4247 | 0.4305 | 0.3411 | C26 |
| C3 | 0.5694 | 0.5804 | 1 | 0.5434 | 0.457 | 0.4437 | 0.4879 | 0.5828 | 0.5927 | 0.533 | 0.488 | 0.4669 | 0.5009 | 0.4844 | 0.4441 | 0.4356 | 0.4606 | 0.4971 | 0.3883 | 0.4438 | 0.4981 | 0.4631 | 0.4497 | 0.3905 | 0.3274 | |
| C4 | 0.3899 | 0.5109 | 0.5434 | 1 | 0.6779 | 0.4421 | 0.4955 | 0.5566 | 0.5174 | 0.4437 | 0.4583 | 0.4414 | 0.4682 | 0.4775 | 0.3396 | 0.3825 | 0.4218 | 0.4749 | 0.5724 | 0.5014 | 0.5616 | 0.6047 | 0.6099 | 0.5893 | 0.3864 | |
| C5 | 0.4534 | 0.4626 | 0.457 | 0.6779 | 1 | 0.5023 | 0.5164 | 0.5232 | 0.5109 | 0.4986 | 0.4889 | 0.4718 | 0.5147 | 0.4592 | 0.4083 | 0.4854 | 0.5019 | 0.527 | 0.5471 | 0.4325 | 0.4895 | 0.5424 | 0.4814 | 0.4817 | 0.3735 | |
| C6 | 0.3769 | 0.3949 | 0.4437 | 0.4421 | 0.5023 | 1 | 0.5004 | 0.4659 | 0.3767 | 0.4982 | 0.5023 | 0.4747 | 0.423 | 0.4222 | 0.3767 | 0.4533 | 0.4594 | 0.473 | 0.4136 | 0.3109 | 0.3342 | 0.4197 | 0.3798 | 0.345 | 0.3318 | |
| C7 | 0.5168 | 0.5661 | 0.4979 | 0.4955 | 0.5164 | 0.5004 | 1 | 0.6934 | 0.5956 | 0.6232 | 0.6404 | 0.6176 | 0.6166 | 0.5545 | 0.4426 | 0.5129 | 0.5189 | 0.5551 | 0.5551 | 0.4279 | 0.473 | 0.5826 | 0.5132 | 0.5116 | 0.3742 | |
| C8 | 0.5082 | 0.5787 | 0.5828 | 0.5566 | 0.5232 | 0.4659 | 0.6934 | 1 | 0.76 | 0.644 | 0.5964 | 0.5897 | 0.6126 | 0.5789 | 0.4403 | 0.5296 | 0.5306 | 0.5697 | 0.5842 | 0.4272 | 0.5161 | 0.5826 | 0.5993 | 0.6056 | 0.4545 | |
| C9 | 0.494 | 0.4846 | 0.5927 | 0.5174 | 0.5109 | 0.3767 | 0.5956 | 0.76 | 1 | 0.6434 | 0.5872 | 0.5552 | 0.5925 | 0.5457 | 0.3944 | 0.5206 | 0.5265 | 0.5773 | 0.4282 | 0.5011 | 0.5337 | 0.5795 | 0.6125 | 0.4878 | 0.5094 | |
| C10 | 0.5244 | 0.5285 | 0.5333 | 0.4437 | 0.4966 | 0.4982 | 0.6232 | 0.644 | 0.6434 | 1 | 0.785 | 0.726 | 0.6913 | 0.5973 | 0.4456 | 0.5857 | 0.5768 | 0.6084 | 0.5352 | 0.4249 | 0.5312 | 0.4874 | 0.4963 | 0.3655 | 0.3778 | |
| C11 | 0.4813 | 0.5156 | 0.488 | 0.4583 | 0.4889 | 0.5023 | 0.6404 | 0.5964 | 0.5872 | 0.785 | 1 | 0.788 | 0.6977 | 0.6398 | 0.5046 | 0.5872 | 0.5656 | 0.5949 | 0.5362 | 0.4028 | 0.4391 | 0.5314 | 0.4482 | 0.4648 | 0.354 | |
| C12 | 0.4704 | 0.5141 | 0.4669 | 0.4414 | 0.4718 | 0.467 | 0.6176 | 0.5897 | 0.5552 | 0.726 | 0.788 | 1 | 0.754 | 0.6304 | 0.5144 | 0.5836 | 0.5789 | 0.5275 | 0.3921 | 0.424 | 0.532 | 0.468 | 0.4654 | 0.3497 | 0.3686 | |
| C13 | 0.5493 | 0.5398 | 0.5009 | 0.4682 | 0.5147 | 0.423 | 0.6166 | 0.6126 | 0.5925 | 0.6913 | 0.6977 | 0.754 | 1 | 0.6952 | 0.514 | 0.6211 | 0.6116 | 0.6072 | 0.5142 | 0.3753 | 0.4368 | 0.5355 | 0.4522 | 0.468 | 0.3638 | |
| C14 | 0.4425 | 0.4953 | 0.4844 | 0.4775 | 0.4392 | 0.4222 | 0.5545 | 0.5789 | 0.3547 | 0.5973 | 0.6388 | 0.6304 | 0.6952 | 1 | 0.5198 | 0.5986 | 0.5917 | 0.5437 | 0.5205 | 0.4346 | 0.4751 | 0.555 | 0.4789 | 0.4946 | 0.4344 | |
| C15 | 0.3976 | 0.4007 | 0.3481 | 0.3396 | 0.4093 | 0.3767 | 0.4426 | 0.4403 | 0.3944 | 0.4456 | 0.5046 | 0.5144 | 0.514 | 0.5198 | 1 | 0.6903 | 0.489 | 0.4549 | 0.4052 | 0.303 | 0.3413 | 0.4287 | 0.3221 | 0.3364 | 0.2905 | 0.3113 |
| C16 | 0.4757 | 0.456 | 0.4441 | 0.3825 | 0.4854 | 0.4533 | 0.5127 | 0.5296 | 0.5206 | 0.5857 | 0.5872 | 0.5902 | 0.6211 | 0.5986 | 0.6903 | 1 | 0.6198 | 0.584 | 0.5302 | 0.3692 | 0.3962 | 0.5124 | 0.4138 | 0.4068 | 0.3222 | 0.3946 |
| C17 | 0.5184 | 0.5157 | 0.4356 | 0.4218 | 0.5019 | 0.4594 | 0.5189 | 0.5306 | 0.5255 | 0.5768 | 0.5656 | 0.5836 | 0.6116 | 0.5517 | 0.489 | 0.6198 | 1 | 0.844 | 0.6134 | 0.3914 | 0.4452 | 0.5342 | 0.4435 | 0.4718 | 0.3829 | 0.4315 |
| C18 | 0.5183 | 0.5081 | 0.4606 | 0.4749 | 0.527 | 0.473 | 0.5551 | 0.5697 | 0.5625 | 0.6084 | 0.5949 | 0.5789 | 0.6072 | 0.5437 | 0.489 | 0.584 | 0.844 | 1 | 0.6583 | 0.448 | 0.5109 | 0.5608 | 0.4937 | 0.5163 | 0.3829 | 0.4315 |
| C19 | 0.4754 | 0.4619 | 0.4971 | 0.5724 | 0.5471 | 0.4136 | 0.5551 | 0.5842 | 0.5773 | 0.5352 | 0.5362 | 0.5275 | 0.5142 | 0.5205 | 0.4052 | 0.5302 | 0.6134 | 0.6583 | 1 | 0.5836 | 0.6205 | 0.6205 | 0.6222 | 0.3993 | 0.3933 | |
| C20 | 0.3393 | 0.3591 | 0.3883 | 0.5014 | 0.4325 | 0.3109 | 0.4279 | 0.4272 | 0.4282 | 0.3763 | 0.4028 | 0.3921 | 0.3753 | 0.4346 | 0.303 | 0.3692 | 0.3914 | 0.448 | 0.5836 | 0.5836 | 0.723 | 0.6207 | 0.591 | 0.5981 | 0.429 | 0.3833 |
| C21 | 0.3741 | 0.4216 | 0.4438 | 0.5616 | 0.4895 | 0.3342 | 0.473 | 0.5161 | 0.5011 | 0.4249 | 0.4391 | 0.424 | 0.4388 | 0.4751 | 0.3413 | 0.3962 | 0.4452 | 0.5109 | 0.6205 | 0.6205 | 0.723 | 0.6207 | 0.591 | 0.5981 | 0.429 | 0.3833 |
| C22 | 0.4502 | 0.4687 | 0.4981 | 0.6047 | 0.5424 | 0.4197 | 0.5365 | 0.5826 | 0.5337 | 0.5312 | 0.5314 | 0.532 | 0.5355 | 0.555 | 0.4287 | 0.5124 | 0.5342 | 0.5608 | 0.6507 | 0.5035 | 0.6207 | 0.6207 | 0.591 | 0.5981 | 0.429 | 0.3833 |
| C23 | 0.3792 | 0.4247 | 0.4631 | 0.6099 | 0.4814 | 0.3798 | 0.5132 | 0.5993 | 0.5795 | 0.4874 | 0.468 | 0.468 | 0.4522 | 0.4789 | 0.3221 | 0.4138 | 0.4435 | 0.4937 | 0.6205 | 0.4643 | 0.591 | 0.6397 | 0.591 | 0.5981 | 0.429 | 0.3833 |
| C24 | 0.3824 | 0.4305 | 0.4497 | 0.5823 | 0.4817 | 0.345 | 0.5116 | 0.6056 | 0.6125 | 0.4963 | 0.4648 | 0.4654 | 0.468 | 0.4946 | 0.3364 | 0.4068 | 0.4718 | 0.5163 | 0.6205 | 0.4643 | 0.591 | 0.6397 | 0.591 | 0.5981 | 0.429 | 0.3833 |
| C25 | 0.3411 | 0.3317 | 0.3905 | 0.4258 | 0.3735 | 0.3318 | 0.3742 | 0.4545 | 0.4878 | 0.3655 | 0.354 | 0.3497 | 0.3638 | 0.4344 | 0.2905 | 0.3222 | 0.3642 | 0.3829 | 0.3893 | 0.3843 | 0.429 | 0.4444 | 0.4595 | 0.4792 | 0.6291 | |
| C26 | 0.383 | 0.3274 | 0.3864 | 0.3395 | 0.3394 | 0.324 | 0.3624 | 0.467 | 0.5094 | 0.3778 | 0.3414 | 0.3686 | 0.3983 | 0.402 | 0.3113 | 0.3946 | 0.4355 | 0.4315 | 0.3933 | 0.3177 | 0.3833 | 0.4432 | 0.4023 | 0.4529 | 0.6291 | |

表7 設問Dの項目の重相関分析【ほとんど相関なし】(全国)

| | | | | | | | | | | | | |
|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|-----|
| Table 7 Multiple correlation analysis results for Survey D (nationwide) | | | | | | | | | | | | |
| D1 | D2 | D3 | D4 | D5 | D6 | D7 | D8 | D9 | D10 | D11 | D12 | D13 |
| D1 | 1 | 0.5887 | 0.5349 | 0.2929 | 0.2135 | 0.2361 | 0.2858 | 0.2905 | 0.2298 | 0.3309 | | |
| D2 | 0.5887 | 1 | 0.5866 | 0.31 | 0.2863 | 0.2251 | 0.2697 | 0.2634 | 0.223 | 0.3661 | | |
| D3 | 0.5349 | 0.5866 | 1 | 0.4127 | 0.3327 | 0.262 | 0.1696 | 0.1593 | 0.2194 | 0.466 | | |
| D4 | 0.2929 | 0.31 | 0.4127 | 1 | 0.4342 | 0.2963 | 0.2387 | 0.2395 | 0.257 | 0.2897 | | |
| D5 | 0.2135 | 0.2863 | 0.3327 | 0.4342 | 1 | 0.4374 | 0.2591 | 0.1929 | 0.2787 | 0.3229 | | |
| D6 | 0.2361 | 0.2251 | 0.262 | 0.2963 | 0.4374 | 1 | 0.364 | 0.2395 | 0.2538 | 0.2548 | | |
| D7 | 0.2858 | 0.2697 | 0.1696 | 0.2387 | 0.2591 | 0.364 | 1 | 0.4771 | 0.3584 | 0.1706 | | |
| D8 | 0.2905 | 0.2634 | 0.1593 | 0.2395 | 0.1929 | 0.2395 | 0.4771 | 1 | 0.4563 | 0.1727 | | |
| D9 | 0.2298 | 0.223 | 0.2194 | 0.257 | 0.2787 | 0.2538 | 0.3584 | 0.4563 | 1 | 0.2862 | | |
| D10 | 0.3309 | 0.3661 | 0.466 | 0.2897 | 0.3229 | 0.2548 | 0.1706 | 0.1727 | 0.2862 | 1 | | |

以上の回答結果より、全国的に「コミュニケーション能力」の必要性に対する認識が際だって高いことがわかる。80%超が「大いに必要」、残りが「やや必要」と答えている。「大いに必要」と「やや必要」をあわせ、次点となるのが「就労意識」または「一般常識」である。「不要」「まったく不要」の回答がない。「一般常識」で無回答が多いのは、一般常識の定義が曖昧であるためであると考えられる。「まったく不要」の回答がなく、「大いに必要」と考えている割合が高く、次に必要性が高いと感じられているのが「課題発見能力」である。一方で、高校卒業時に比較的良く獲得されたと考えられる能力は「PC基礎操作能力」である。教科「情報」が中等教育段階に完全導入されたためであろう。「コミュニケーション能力」も昨年と比較すると身につけていると考えている教員が増えたことがわかる。

一方、課題発見能力や企画・提案能力はまだまだ不十分、とされていることがわかる。より具体的には、図4、図6で示されたように、「指示されないと行動できない」や、表5や表7で相関が高く、能力も不足とされている項目群、「10：現状を把握して分析しようとしなさい」、「11：問題点を見つけようとしなさい」、「12：課題を明確にすることができない」、「13：問題解決の手順や方法を考えられない」、があげられる。また、図4、6で不足する力の2、3位に位置づけられ、かつ相関の高い能力、「17：ポイントを整理してから話をしなさい」と「18：順序立てて話ができない」は、表現力やプレゼンテーション能力と言い換えることができる。

設問Dは、大学進学上問題となっている事項である。学力の二極化は、大学教員側から感じられていたことであるが、高校側からも同意見であることが確認できた。親の理解不足の問題には、地域差があることがわかった（詳細は平成20年度報告書参照 [3]）。

3. コミュニケーションリテラシー

3.1 接続科目としてのコミュニケーションリテラシー

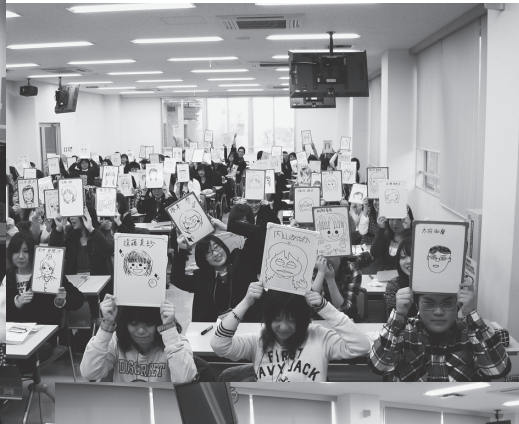
現代の社会人に必要な基礎能力の育成という観点から、真のコミュニケーション能力とは、「読み・書き・パソコン」により情報を交換し、提案をしたり、問題を解決したり、プレゼンテーションをしたりできる能力」と定義した。具体的な内容は、2-2のアンケート実施によって明らかとなった基礎能力を盛り込んでいる。したがって、「話す・書く力」、「コミュニケーションツールとしての電子メールやパソコンソフトウェアの利用法」、「確かな情報源としての図書館の正しい利用法」、「(グループで取り組む) 問題解決」、等を導入した。5-6人のグループワークで問題解決・企画提案にあたる形式をとった。

とくに、2008年度の「コミュニケーションリテラシー」は、全15講とし、90分/1講で表1に示したように、4日間にわたり12講を実施。さらに入学後に3講を修了した学生に対して1単位を認定することとした。

今年度は希望者が昨年比4倍近くの110名(24校)となった。入学後の学科別内訳は、総合ビジネス41名、情報メディア25名、生活プロデュース22名、保育22名である。テキストとして、「コミュニケーションリテラシーワークブック」を配布した。Microsoft Excel®の第8講はWebテキストを用いた。なお、昨年本講座を受講した学生にティーチングアシスタントをアサインすることで、よりスムーズな授業運営を図るとともに、学生自身の学びの場とした。授業風景の一部を示す。

表8に本講のシラバスを掲載する。

第2-3講 アイデアマラソン



第4-5講 読む・書く



9 コミュニケーションリテラシー授業風景
Fig. 9 Classes of Communication Literacy

表 8 コミュニケーションリテラシー（平成 21 年度）シラバス

| 科目名 (英語名) | コミュニケーションリテラシー Communication Literacy | | | 科目コード | (ふりがな) 担 当 者 | おざおりこ 小 棹 理子 | 専任 |
|--|--|----|------|-----------------|-----------------|-------------------|----|
| | | | | 21LA56 | | いとう よしたか 伊藤 善隆 | |
| 1 単位 | 開講期 | 前期 | 授業方法 | | 講義/演習 | | |
| <p>[履修条件、準備など]</p> <p>この科目は高大連携高等学校の推薦入試・SE入試の合格者を対象として入学前および入学後に授業を実施するものです。高校在学中にこの授業を受講登録した学生のみ対象としています。それ以外の学生は受講できません。 グループ作業ですので、欠席しないこと。</p> | | | | | | | |
| <p>[授業の目的及び概要]</p> <p>第一の目的は大学と高校の違いの理解することです。 また、高校で学んだ「情報」の技術などを基礎に、大学や社会で必要とされるコミュニケーション能力を発展させることを目的とします。 大学生活を送る上でとても大切なこと（自学自習をする上でのアドバイス、マルチメディアの利用、オフィスアワー、等）についても、複数（2名以上）の担当者が丁寧に説明します。 なお、教室・履修者の状況によって内容の順序を変更することがあります。</p> | | | | | | | |
| [授業計画] | | | | | | | |
| 1回 | ガイダンス | | | | | | |
| 2回 | メモの取り方 | | | | | | |
| 3回 | メモの取り方、アイデアの出し方 | | | | | | |
| 4回 | コミュニケーションの基本－話す技術 | | | | | | |
| 5回 | コミュニケーションの基本－書く技術 | | | | | | |
| 6回 | インフォマティックス－図書館の利用とインターネット検索 | | | | | | |
| 7回 | レポート・報告書としての文書作成 | | | | | | |
| 8回 | ビジネスにおけるMS-Excelの活用－基本操作と表計算 | | | | | | |
| 9回 | ビジネスにおけるMS-Excelの活用－グラフ化とデータベース機能 | | | | | | |
| 10回 | ビジネスにおけるMS-Excelの活用－関数の利用 | | | | | | |
| 11回 | 問題と問題解決の技法 | | | | | | |
| 12回 | 問題解決－発散技法 | | | | | | |
| 13回 | 問題解決－収束技法 | | | | | | |
| 14回 | グループプレゼンテーション（最終発表）1 | | | | | | |
| 15回 | グループプレゼンテーション（最終発表）2 | | | | | | |
| [成績評価] 提出課題の点+グループ評価の点+出席点 | | | | | | | |
| | 書 名 | | | 著 者 | 出 版 社 | | |
| テキスト | コミュニケーションリテラシーワークブック | | | 伊藤 善隆 小 棹 理子 | 湘北短期大学 | | |
| 参考文献 | 頭がいい人、悪い人の話し方 | | | 樋口 裕一 | PHP研究所 | | |
| [備考] 今年度外部講師:「メモの取り方」:樋口健夫、他講師 山本正夫、関祐太郎、谷口将一 | | | | | | | |

3.2 受講生のアンケート結果

受講生に対し、入学後の所属学科名や参加の動機、実際に参加して得たものや感想、後輩にすすめるかどうか、などのアンケートを行った。110名のうち、2月10日出席の107名より回答が得られた。昨年度(27名回答)の結果と比較した結果を以下に示す。

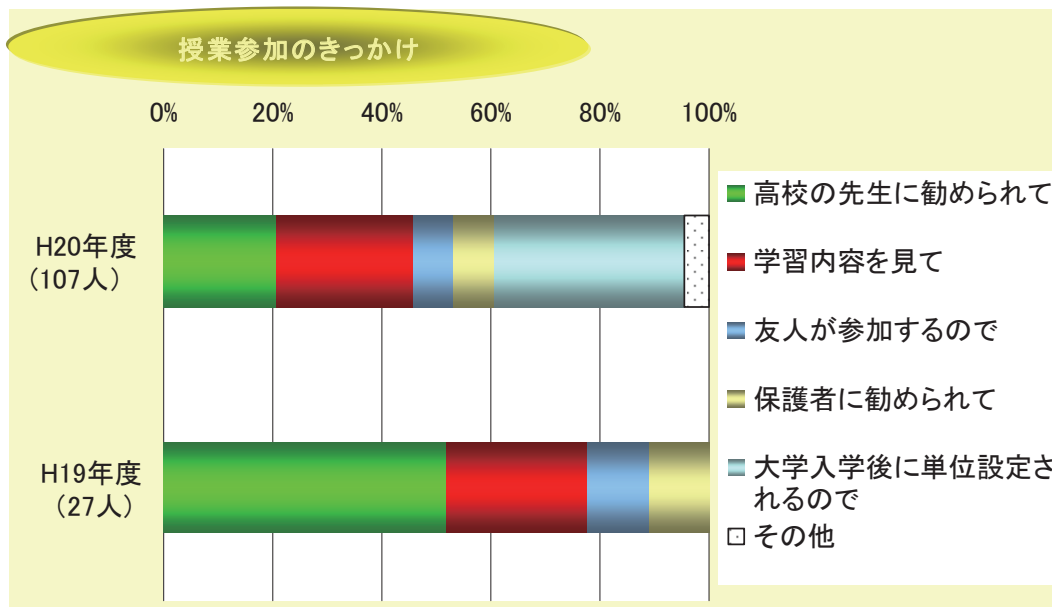


図 10 コミュニケーションリテラシー参加のきっかけ

Fig. 10 Answers to the questionnaire: Why did you attend Communication Literacy?

昨年度と比較すると80名増であるが、約37名が今年度より単位認定されるため、という理由で受講したことがわかる。高校の先生の勧めや学習内容を見て、という理由で受講した生徒の数も増えている。すなわちアンケートを実施する前は、受講者増の大きな要因は今年度より単位認定科目としたことではないかと予想していたが、必ずしもそうではなく、高校の先生や受講者自身の「コミュニケーションリテラシー」そのものに対する期待や理解が大きかったことがわかる。

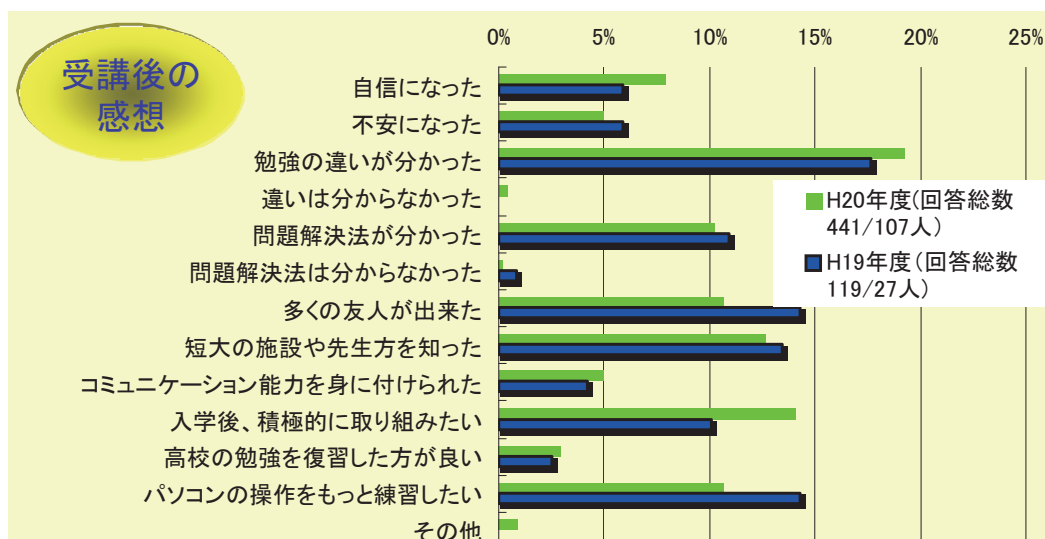


図 11 受講後の感想（昨年度との比較）

Fig. 11 Answers for the questionnaire: “What is your impression on Communication Literacy?”

受講後の感想は昨年と類似の傾向が見られる。所期の目的である「大学と高校の勉強の違いの理解」や「問題解決法の知識の獲得」も一定の結果が得られている。今年度特筆すべきは、「入学後の勉学意欲の向上」の伸びが見られることであろう。

さらに、本講座を後輩等に勧めるかどうかを問うた結果を図12に示す。下記の結果から、本授業に対して一定の満足度が得られていることも窺える。

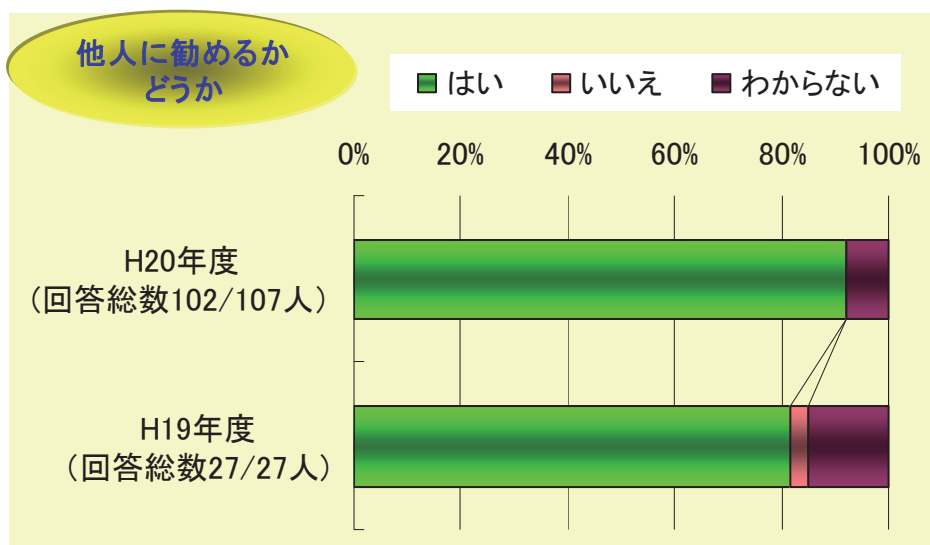


図 12 本授業を他人に勧めるかどうか

Fig. 12 Answers to the questionnaire: “Do you recommend Communication Literacy?”

3.3 コミュニケーションリテラシーの効果

接続教育に対する評価の重要な観点、高校教育から高等教育へ、いかにシームレスに移行ができるかであろう。大学入学時前後の学習意欲は、その後の学習に大きく影響を与えるとする見方が一般的である。しかし、検証例は少ない。

4年制大学の例ではあるが、武谷ら [4] によると、1-2年次の教養教育中心の科目の成績が良い学生は、3-4年次の専門教育中心の科目でも成績が良い傾向があるとのことである。一方、渡辺 [5] は、入学時における学習意欲とその後の学業成績との関係を量的分析により確認している。この事例では、入学時の学習意欲が低くても第1学期の学習に十分意欲的に取り組むことができれば、1年次の成績が良くなると分析している。たとえば、充実した初年次教育で知られる関西国際大学では、進路再考・不適応を理由にした中退者は、10年前から大幅に減っており、1年生で自学自習の習慣を身につけた学生は一貫して好成績を修めるそうである。

上記事例は示唆に富んでいる。これらの事例

を逆から見ると、1年次で学習意欲を失った学生は、進級時に退学する例が増えるということになる。退学率は学生の学習意欲のバロメータになりうる [6]。図13に湘北短大における高大連携校から入学者の占める割合と退学者の比率の変化を示す。連携協定の正式調印は、平成14年である。以降、連携校から入学する学生数は、平成12年度に比較すると、168 (H14)、189 (H15)、182 (H16)、162 (H17)、170 (H18)、190 (H19)、204 (H20) 人と増加傾向にある。一方、退学者の比率は平成18年を除き、減少傾向にある。高大連携校から本学の教育内容をよく理解して入学する生徒が増えたためミスマッチが減り、学習意欲の高い学生の増加につながったと見ることもできる。例外の平成18年度の退学率増加の原因は不明であるが、学科間で応募者数のアンバランスがあったことが考えられようか。

前掲のとおり、コミュニケーションリテラシーの受講生に対し行ったアンケート結果 (図11) から、入学前の学習意欲が向上したことが窺われ、好影響が期待できる。ただし、この検証は1年後

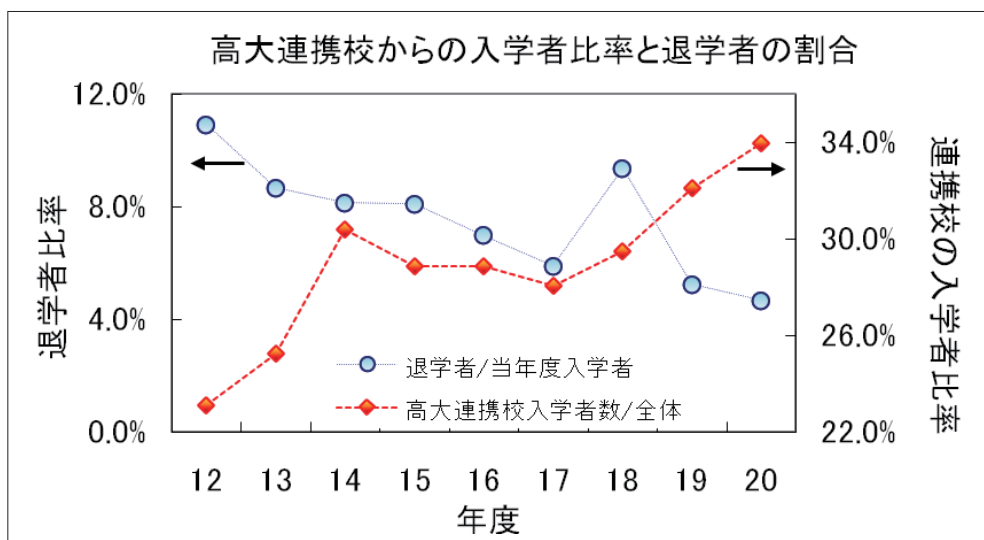


図13 高大連携校からの入学者比率と退学率の推移

Fig. 13 Ratio of students entering college from coordination high schools and the ratio of early leavers

を待たなければならない。そこで昨年度の受講者に対して検証を行っておきたい。ただし、昨年度は試験的に実施したため、講座の受講生数は30名と少ない。検証は容易ではなく、方法に関してはポートフォリオを導入する案などさまざまな議論があったが、時間的な制約もあったため、2009年1月31日時点の在學生（1年生）に対し、接続教育としての「コミュニケーションリテラシー」が1年間の学生生活に与えた影響を問うアンケートを行った。また、各学科では、それぞれ独自の入学前課題を課しているため、その影響も併せて問うこととした。各学科独自の入学前課題とは、たとえば、保育学科では、家事などを行った報告と読書感想文、情報メディア学科では新聞切り抜きダイジェストの作成、などである。結果を図14に示す。

コミュニケーションリテラシーの受講生が評価した点は、「高校と短大の違いが早めに分かった」、「入学前に、多くの友人が出来た」、「入学前の不安

がなくなった」、「コミュニケーション能力が身につけられたように思った」などであった。

4. まとめと今後の課題

職業を持った社会に役立つ人材を育成するために、高大連携校から入学が決定した生徒対象の接続教育科目「コミュニケーションリテラシー」を開発・実施した。入学前の2月（～3月）の12講と入学後の3講を合わせ、全15講の修了により1単位を認定する。内容は、2年間にわたる「コミュニケーション教育研究会」での調査・研究・議論をとおして決定した。平成20年度は、24校から110名が受講した。

講義終了後にアンケートを実施し、その効果の検証を試みた。その結果、受講生の約20%が高校と大学の教育の違いを理解し、約15%の生徒に学習意欲の向上が見られた。また、昨年受講した学生へのアンケート結果から、昨年のプログラムの

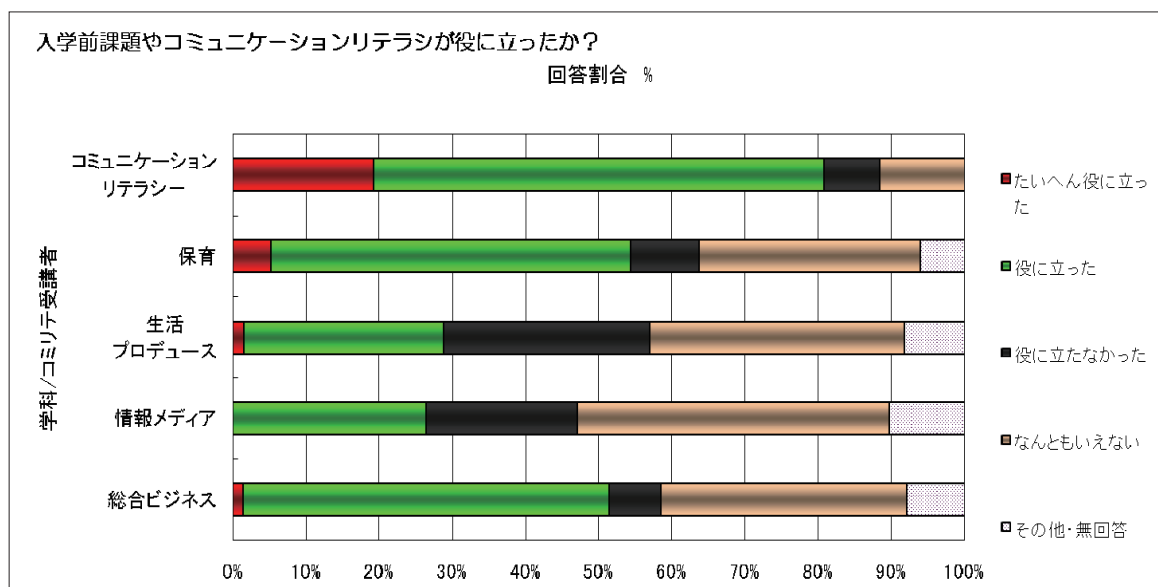


図 14 コミュニケーションリテラシー受講生の評価

Fig. 14 Answers for the questionnaire “Do you find Communication Literacy or pre-deucation program useful?”

有効性が示唆された。今後、接続教育のさらなる拡大とともに効果の検証もより重要な課題となる。そのため、検証方法を検討することも、必要となるだろう。

また、高大連携は“大学側からのプログラムの提供”、という一方のサービスの流れにとらえられがちであるが、2年間のコミュニケーション教育研究会のミーティングでは、高校—大学間のみならず高校教員間の交流が活発に行われた。その中で、高校の現状や課題に対する理解が深まり、大学の教育を考える上でもたいへん参考になった。このようにさまざまな情報交換の場を得て、高校の実態を深く理解した上での科目開発という手法は、今後、大学内のFD(ファカルティ・デヴェロップメント)に取り入れることも期待されよう。

謝辞

本研究は平成18年度文部科学省選定大学改革推進事業プログラム「高大連携による地域教育ネットワークの形成」の助成によるものです。アンケートの実施ならびにデータの提供は本学教務部にご協力いただきました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

注

注1)「キャリア教育」とは、「学生が将来への目的意識を明確に持てるよう職業観を涵養し、職業に関する知識・技能を身に付けさせ、自己の個性を理解した上で主体的に進路を選択できる能力・態度を育成する教育」[大学審議会答申(H12.11.22)]を意味する。

注2)「社会人基礎力に関する研究会」(座長:諏訪康雄法政大学大学院教授)を平成17年7月か

ら開催。中間とりまとめ等については<http://www.meti.go.jp/press/20060208001/20060208001.html> (H18.2.8)

参考文献

- 1 小棹理子・伊藤善隆・藤澤みどり・高橋可奈子・岩崎敏之・住谷勉・原満・三橋健彦・宮地妃佐子・石田英弥、「高大連携による接続教育プログラム開発の試み」湘北紀要第29号(2008) pp9-18.
- 2 アンケートなどを実施:小棹理子・伊藤善隆・岩崎敏之・藤澤みどり・高橋可奈子・住谷勉・原満、「情報教育からキャリア教育へ—高大連携による接続教育プログラム」平成20年度教育改革IT戦略大会(社)私立大学情報教育協会C-2(2008) pp94-5; 小棹理子、住谷勉、三橋健彦、宮地妃佐子、岩崎敏之、藤澤みどり、小野目豪、伊藤善隆、小田井圭、「情報教育からキャリア教育へ—高大連携による接続教育の試み」平成19年度情報処理教育研究集会論文集、pp. 67-70(2007); 小棹理子、「情報教育からキャリア教育へ—アンケート結果から」平成19年度情報処理教育研究集会論文集、pp.34-37(2007)。
- 3 活動報告書「平成20年度文部科学省 大学改革推進事業プログラム:(「特色ある大学教育支援プログラム」)—「高大連携による地域教育ネットワークの形成」—
- 4 武谷峻一、柴田洋三郎、三隅一百、「入学前・入試・初年次・専門科目成績の相関—9600人の追跡調査」大学入試研究ジャーナル 14号(2004) pp113-8.
- 5 渡辺哲司、「大学入学時・初年次の学習意欲と卒業までの学業成績」大学教育学会誌 28巻2号(2006) pp95-100.
- 6 平成19年文部科学省 大学改革推進事業プログラム(「特色ある大学教育支援プログラム」)—「高大連携による地域教育ネットワークの形成」—助成申請書

Novel Education Coordination Program between Upper Secondary Schools and Shohoku College

OZAO Riko ITO Yoshitaka TAMURA Shingo IWASAKI Toshiyuki FUJISAWA Midori,
TAKAHASHI Kanako HARA Mitsuru SUMIYA Tsutomu,
SATO Akihiro KOBAYASHI Kumiko ISHIDA Hideya

[abstract]

Novel coordination program, namely, “Communication Literacy”, consisting of 15 lesson classes, was developed and held for secondary school third grade students. This class was developed and implemented in a project set up with members from secondary school teachers and Shohoku College teachers and staff. Survey on basic vocational abilities necessary for the graduates was made by sending questionnaires to secondary school teachers.

Questionnaires were made to students participated in the program to clarify the effect of the program.

[key words]

Communication abilities, Upper secondary school–university coordination program,
basic vocational abilities

